

目次

第2版発行にあたって

第1版発刊にあたって

I 講義編

1 行動科学とは	2
2 保健医療行動	
1) 保健医療行動とは	6
2) 動機づけ理論	10
3) 行動変容ステージ	14
4) 脳科学的背景	18
5) 社会的背景	22
6) 文化的背景	26
7) 哲学的背景	28
8) 当事者研究	32
3 患者-医療者関係とコミュニケーション	
1) 患者-医療者関係	34
2) 患者の権利と医療者の義務	36
3) コミュニケーション技術	38
4 保健医療専門職のプロフェッショナリズム	
1) 医師	42
2) 歯科医師	44
3) 看護師	46
4) 助産師	48
5) 保健師	50
6) 理学療法士	52
7) 作業療法士	54
8) 言語聴覚士	56
9) ソーシャルワーカー	58
10) カウンセラー	60
5 多職種・市民連携	
1) チーム医療	62
2) 患者会と家族会	64
3) 地域包括ケア	66
4) 病院ボランティア	70

6 様々なアプローチ	
1) 動機づけ面接法	72
2) コーチングとティーチング	76
3) ナラティブ・アプローチ	78
4) セルフマネジメント支援	82
5) カウンセリング	84
6) 回想法	88
7) 認知行動療法	90
8) ソーシャルワーク	92
9) ホリスティック・アプローチ	94
10) 政策によるアプローチ	100

II 演習編

1 価値交流学习	108
2 コミュニケーション技法1: 反応を示しながら聞く	110
3 コミュニケーション技法2: 要約する	112
4 コミュニケーション技法3: 共感する	114
5 会話のときの姿勢	116
6 ナラティブ・クエショニング	118
7 オープンダイアログ	124
8 内在化と外在化のための質問	128
9 協力ゲーム	134
10 多職種連携のためのケーススタディ	136

索引

執筆者